

授業概要

社会心理学は、人と人、人と集団、組織や社会との関係性のなかで、人や集団がどのような行動をとるのかを研究する学問である。社会心理学における古くからの研究を第 2 回に紹介する。対人関係のみではなく、「自己」の問題を第 3 回、第 4 回にとりあげる。第 5 回以降では他者、集団、組織、社会との関係における重要なトピックスをとりあげ、社会心理学がどのような学問であるのかを理解してもらおう。人が社会をどのように作り上げ、社会が人にどのような影響を与えるのかに注目していただきたい。

授業計画

第 1 回	授業の進め方と諸注意および授業の概要
第 2 回	社会心理学における古典的研究
第 3 回	自己心理と対人心理
第 4 回	自己認知と社会的自己
第 5 回	説得的コミュニケーション
第 6 回	対他行動①—他者への攻撃
第 7 回	対他行動②—他者への援助
第 8 回	対他行動③—欲求行動①
第 9 回	対他行動④—欲求行動②
第 10 回	組織と集団①—リーダーシップ
第 11 回	組織と集団②—チームワーク
第 12 回	組織と集団③—集団間葛藤
第 13 回	集団と社会①—消費者行動
第 14 回	集団と社会②—情報化の問題
第 15 回	全体的なまとめ
第 16 回	試験

到達目標

調査の方法論を確実に理解してもらおう。心理系の専門ゼミでの調査、社会調査実習、卒論において応用が可能になる実力を身につける。

履修上の注意

積極的な意見、質問を歓迎する。ただし、私語は厳禁。

予習・復習

資料とテキストを付け合わせて確認し、復習をしてもらいたい。

評価方法

授業の参加性（60%）とテスト結果（40%）をもとに評価する。

テキスト

毎回、A4 の資料 2 枚程度を授業テキストとして配布する。復習がしっかりできるように授業テキストは構成する。